

伊敷地域での 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

〔開催概要〕

日時:平成26年9月30日(火)18:00~19:00

場所:伊敷公民館

※平成26年度 第4回目

平成26年11月
鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年9月30日(火)18:00~19:00

場所:伊敷公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	西伊敷商店街通り会 男性	① 今年の元旦だったと思うが、南日本新聞に伊敷団地が超高齢化しており、市は地域の団体と連携しながらまちづくりをしていきたいという旨の記事が載っていたと思うが、具体的にはどのように考えているか教えて欲しい。	① 鹿児島市も他の都市と同じように高齢化が進んでいます。高齢化率もどんどん高くなってきています。鹿児島市の方針としては、高齢者の方々がそれぞれの地域で生きがいを持って豊かな生活をできるように色々な事業を進めています。 特に地域の中でまちづくりを進めていくために、地域コミュニティ協議会というものをそれぞれの地域で設立してもらうために取組を進めています。これは町内会やNPO・企業など幅広い団体が地域に存在しているので、その機能と役割を生かして、互いに連携して地域全体でまちづくりに取り組んでいただきたいと思います。 現在それぞれの学校区には校区公民館運営審議会というのがあり、その中に色々な団体が入っていると思いますが、もっと幅広い団体の方に入ってもらい、一つのまちを担う組織を作っていただきたいということで地域コミュニティ協議会を全市域に作っていただくように取組を進めています。現在は、中名・平川・八幡にコミュニティ協議会が出来ていますので、この協議会の取組状況を皆様にご紹介しながら、協議会を全市域に広げていけたらと思っています。このことで地域のまちづくりは地域の皆さんでやっていくという機運を醸成していけたらと思っています。 高齢者の方々と人生経験も豊富ですし知識も持っていらっしゃると思いますので、高齢者の方々が若い人たちや色々な団体の方々と一緒になってまちづくりに取り組んでもらいたいと思います。地域が元気になることで鹿児島市全体の元気・魅力がより増してくると思いますので、コミュニティ協議会にもぜひ参画いただき、まちづくりに参画いただきたいと思います。	市民局	地域コミュニティ協議会は、町内会などの既存のコミュニティ組織やNPO、企業など、校区内で活動している各種団体が連携協力してまちづくりに取り組む組織で、現在、中名・八幡・平川の3地域で協議会を設立し、活動いただいているところです。 同協議会では、住民アンケートの実施などを通して、まちづくりの指針となる地域コミュニティプランを策定していただき、本市はそのプランに基づく活動に対し、積極的に支援してまいります。 27年度からは同協議会を市内全域で順次設立してまいりますので、ぜひ、協議会設立に向け取り組んでいただき、市も地域での協議に加わるなど各面から支援してまいりたいと考えております。
2	伊敷歴史研究会 男性	② 町内会費が前期7,000円、後期7,000円で年間14,000円であり、私は町内会の会計係をしている。寝たきりの高齢者のお宅からも同じように徴収するが、なんとかならないかと思う。町内会長の仕事が月20日ほどあり、報酬は月3万円、12月と7月は4万円だが、住民の負担を少なくするため、市から補助はないのか。	② いま鹿児島市では町内会の運営に対する補助というものは行っておりません。町内会が様々な事業を進めるうえでの補助金というものは支出をしています。 町内会というのは、鹿児島市が作ってほしいという想いもありますが、それぞれの町内会の歴史や経緯などがあり、町内会費などについてはそれぞれの団体で決めてもらえたらと思います。 現在、地域コミュニティ協議会を全市域に進めようとしていますが、様々な補助を統括して、自由にというわけではないですが、運営上に使っていただけるような仕組みができればと思っています。それぞれの協議会でまちづくりを進める中で柔軟な対応が出来るのではないかと考えていますので、コミュニティ協議会が出来たら運営に対する補助というのも考えていかないといけないと思います。現在は事業に対する補助をしていますので、それを活用していただきたいと思います。	市民局	町内会は、地域の清掃や防犯灯の維持管理、親睦活動など住みよい地域社会づくりに取り組んでいただけており、市政における重要なパートナーと考えております。一方で、町内会は、住民の総意のもと予算や事業計画を決め活動されるなど、自主的な運営がなされております。 このようなことから、市は、町内会が取り組む地域活性化や安心安全、環境衛生などの活動に対し補助制度を設け、助成を行っているところです。 本市の町内会加入率は減少傾向にありますので、今後とも加入促進に取り組んでまいります。少子高齢化の進展等により加入世帯が減少した場合、町内会の財政への影響がでてくるものと考えております。現在、取組を進めている地域コミュニティ協議会に対する支援のあり方を検討する中で、各面から考えてまいります。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年9月30日(火)18:00~19:00
場所:伊敷公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	健康づくり推進員 男性	③ 特別養護老人ホームについて、高齢化が進んでおり、数が少ないと感じる。ある特別養護老人ホームでは入居者が100人待ちというも聞いた。市として特別養護老人ホームについてもう少し考えられないか。	③ 現在鹿児島市でも待機者の方々はたくさんいますし、また施設整備をしたいという医療機関もあります。しかし、高齢者の保健福祉や介護保険というのは皆様方の使用料にも跳ね返ってきます。特別養護老人ホームを作ること介護保険料にも跳ね返ってきます。鹿児島市としては出来る限り多くの施設を作りたいという想いがありますが、出来るだけ高齢者の方が鹿児島市で介護できるように国・県に要望しています。出来るだけ皆様方の意に沿うように力を尽くしていきたいと思いますが、設備にも予算がかかりますし、介護保険料にも影響がでますので、それを踏まえながら対応をしていければと思います。 鹿児島市は病院・介護施設がたくさんあることで、他の市町村から鹿児島市に移り住んでくる場合もあり、そうなると他の地域での過疎が進むとなると県全体の人口動態やまちづくりに影響がでてくるので、様々な観点から国・県が設備計画を作っていると思いますが、鹿児島市としては力強く要望していきたいと思えます。	健康福祉局	特別養護老人ホームなどの待機者対策は、重要な課題と考え、これまで、待機者の状況や保険料への影響を考慮して、高齢者保健福祉・介護保険計画を策定し、施設整備を行ってまいりました。今後も、高齢者が増加することにより、介護保険サービスの必要性は高まっていくと考えますので、引き続き、特別養護老人ホームなどの施設サービスの整備を進めるとともに、在宅サービスの充実なども進めていきたいと思えます。また、国に対しては全国市長会を通じて、介護サービスの基盤整備等について必要な対策を講じるよう要望したところであり、今後も必要に応じて国・県など関係機関に対し、要望等を行ってまいりたいと思えます。
4	運動普及推進員 女性	④ 運動普及推進員について、ここ数年新会員の加入が減っており、講座を修了しても会員として活動せず休会・退会が多くなっている。理由としては、講座を受講できる年齢が65歳までということで、若い人が資格を取っても、仕事など色々な事情があり、活動に参加できないということがあがると思う。推進員にどうしたらなれるのかと聞いてきた方々に対して、年齢制限があると伝えると、とても残念がられた。このようにやる気のある元気な方々に参加してもらうために年齢制限をもう少し緩和していただき活動のチャンスを与えてもらえたらと思う。	④ 日頃から皆様方には、各種保健業務にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。運動普及推進員の皆様方が地域で中心になって、市民の方の健康管理や健康維持に大変なお力をいただいておりますので、運動普及推進員を増やすことで鹿児島市の健康づくりにもつながってくると思えます。 ご要望のありました年齢制限の緩和というのを図っていかねばいけないと思えますので、すぐに対応させたいと思えます。平成26年4月で運動普及推進員が238人、講座を修了した人が653人ということで年々増えてきているとは思いますが、まだまだ多くの皆様に生きがいを持って生活していただくためには、運動普及推進員のお力が必要ですので、今のお話をしっかりと受けとめて、年齢制限は緩和をしていきたいと思えます。	健康福祉局	ご要望のありました、講座受講対象者の年齢制限につきましては、緩和に向けて現在検討しているところでございます。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年9月30日(火)18:00~19:00
場所:伊敷公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	食生活改善推進員 女性	⑤ 伊敷公民館での文化祭で、テーマに沿った展示うどん・そばを提供している。以前は食生活改善推進員がだし汁を作っていたようだが、最近は衛生面の理由からだし汁は業者が作り、麺は袋入りのもの、たまごとネギも刻んで持ってきており、おにぎりも握って持ってきている。食生活改善推進員としての力が発揮できていないと思う。	⑤ 食生活改善推進員の皆様には、地域の食生活に携わり、地域の皆様の健康づくりに大変ご貢献をさせていただいております。皆様方が作ったものを直接提供して、また作業等について紹介をしていきたいという強い思いを感じました。 食品の提供については様々な観点から神経を使わないといけない活動だと思いますので、推進をしていくときに課題などありましたら市保健所の生活衛生課にご相談いただけたらと思います。	健康福祉局	本市では、食中毒発生予防の観点から、地域催事等において提供できる食品については、原則、簡易な調理であり、食べる直前に中心部まで十分に加熱されたものとしておりますが、調理の場所や方法、メニュー等によって、個別に判断が必要となる場合がございます。 今後とも、催事・バザー等における提供メニューや食品、調理方法、食品の衛生的な取扱いなどのご相談へは、随時応じてまいりますので、ご理解いただきたいと思います。
6	どんこ村開拓団 男性	⑥ 鹿児島市では総合計画の中で「人が行き交う 魅力とにぎわいのあふれるまち」として中心市街地の活性化に取り組んでいるようだが、我々の活動は震災支援や山村交流をして地域の活性化を大きな柱としている。残念ながら地域の過疎化は今後も止まらないだろうと思うが、市長は過疎地域の活性化にどのように取り組んでいるか教えて欲しい。	⑥ 鹿児島市は「人が行き交う 魅力とにぎわいのあふれるまち」を一つの大きな基本施策に掲げています。これは中心市街地の活性化だけでなく、それぞれの地域の特性を生かしたまちづくりを進めていかなければいけないという想いも含まれています。それぞれの地域には地域資源・特性を生かした観光・経済振興等ありますし、グリーンツーリズムの推進も含まれます。 若い方々と高齢者の方々が触れ合う場の環境づくりにも取り組んでいかなければならないと思っています。具体的には、既存集落活性化住宅というものを伊敷地域では皆与志、皆与志中組、小山田塚田、小山田名越に建設しましたし、また、あいばすをそれぞれの地域で走らせています。過疎地域など交通不便地域がありますので、あいばすを利用して買い物・病院その他の目的で活用していただければと思っています。このように地域の活性化や子育て世代等の定住促進に努めています。 また、この伊敷地域にも高齢者福祉センターと親子つどいの広場の建設を進めていますので、その地域で出来るだけ結論が出るようなまちづくりが出来ればと思います。いま、まちの形態というのはそれぞれの地域によって変わってきています。それぞれのまちづくりに、皆様方が熱心に取り組んでいる賜物だと思っています。それぞれの地域の魅力あるまちづくりについて、皆様方と一緒に取り組む姿勢で鹿児島市の運営をしたいと思っています。	企画財政局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年9月30日(火)18:00~19:00
場所:伊敷公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	健康づくり推進員 女性	<p>⑦ お達者クラブでは、保健師の方々が私たちが健康づくり推進員を育成し、私たちが地域で活動しており、会員が主役であるという理念を前面に打ち出している。年の最初にも「みなさんが主役ですよ」としっかりと教えてくれる。そうすると自分たちは前向きに計画・活動に取り組める。</p> <p>一方町内会に目を向けると、頂点が町内会長で、末端が住民と感じており、市長が「市民が主役」と言うが大きな意識のずれがあると思う。市の方でも研修などしていると思い、市に尋ねたところ、法的な縛りがあるのか分からないが指導はできないとのことだったが、みんなの町内会という冊子ももらった。それを見ると市はあの手この手で町内会の活動を促しているんだなということがよく分かった。しかし町内会がうまく活用できていないのではと思った。</p> <p>そこで、町内会でリーダーを育てるときにも、お達者クラブのように、地域の中からやりたいという人を募って育成したらと思うがどうか。</p>	<p>⑦ いま鹿児島市は残念ながら町内会加入率はどんどん減っています。以前は7割強あったのが、いまは5割ちよつとということで、各地域に町内会組織があったのが存続できずに消滅したところもありますし、特に若い方々がなかなか町内会に入ってもらえないところ。それぞれの地域では、人生経験豊かで知識を持った年配の方々が心身ともに頑張っておられるのが現状ではなからうかと思えます。</p> <p>鹿児島市も出来るだけ町内会も含めて、それぞれの地域でそれぞれの方々が情報を共有・連携しながらまちづくりを進めてほしいという想いを何よりも強く思っています。地域コミュニティ協議会では、町内会、老人クラブ、校区公民館運営審議会、あいご会などそれぞれの組織が一緒になって一つの大きな組織を作ってもらって、地域の方々と一緒に地域の特性を生かしたまちづくりを進めて欲しいということを推進しています。そうすることで無関心だった方も入ってきたり、地域の中でまちづくりをしたり、地域を元気にしたいという想いが強く感じられるようになるのではないかと考えています。</p> <p>現在それぞれの地域に鹿児島市の職員が説明に行っていますので、コミュニティ協議会が出来れば、それぞれの地域がこれまで以上に活性化すると考えています。</p> <p>また、リーダー育成については調査研究していきますが、地域で核となる方々が集まっていたのが最善な方法かと思えますので、モデル地域の検証をしっかりと、それを踏まえて対応を進めていければと思います。</p> <p>なぜこのような組織を作るかというと、町内会長もあいご会長も校区公民館運営審議会の委員も1人の人が何役も担っているのが現状だと思いますので、1人の人が何役も担うのではなくて、協議会の中で役割を担ってもらい合議体を作ってもらってまちづくりに生かすという組織を作ること、町内会がなくなるとか連携がなくなるとかいう懸念も払拭されるのではないかと考えています。このようにコミュニティ協議会を作っていきますのでご協力をお願いいたします。</p>	市民局	<p>「役員のなり手がいない」、「役員の負担が大きい」といった運営上の課題を抱えている町内会が多いことから、人材育成のための講座や活動に役立ていただくための研修会などを開催するとともに、活動の手引書として「みんなの町内会」を作成し、活用いただいているところです。今後におきましても、町内会の自主的な運営がなされるよう側面から支援してまいります。</p> <p>また、本市は、町内会などの既存のコミュニティ組織やNPO、企業など、校区内で活動している各種団体が連携協力してまちづくりに取り組む地域コミュニティ協議会の設立に向け取り組んでおり、町内会の人材育成についても、協議会の構成団体間で情報交換等を行っていただければと考えております。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年9月30日(火)18:00~19:00
場所:伊敷公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	健康づくり推進員 女性	⑧ お達者クラブでは推進員がなかなか増えず、特に男性が少ない。もっと多くの人に推進員になってもらえるよう市民のひろばで広報してもらえたらと思う。	⑧ 会員が増えることで元気な方々が増えると思いますし、またそういう方々が増えると多くの方々が健康づくりに興味を持つと思いますので、市民のひろば等で広報していきたいと思います。地域で活動されている方は男性が少ないように感じますし、私も時間がある時に町内会の掃除に行くときほとんど女性の方ばかりですので、やはり地域には能力が高く知識が豊かな方がいらっしやと思いますのでそういう方々にいろんな活動に参画していただくと大変ありがたいと思います。広報に努めていきたいと思います。	健康福祉局	市長回答のとおり
		⑨ 川内原発の再稼働でもめていると思うが、安全委員会の出した安全ですというのは本当に安全なのかと疑うようなものでいる。私たちは川内原発から40km圏内であり、もし川内原発が再稼働したら私たち住民の安全に対しては鹿児島市はどのような対策を考えているか。	⑨ 鹿児島市は防災計画というものを作っています。鹿児島市では川内原発の30km圏内に郡山地域がありますし、40km・50kmとなると鹿児島市全域が含まれます。原子力災害もそうですが、桜島の火山への対策や豪雨・台風などへの対策もしなければなりませんと思っています。それに対しては避難計画・防災計画というものをしっかりと作っています。また、それぞれの地域で危ない箇所や急傾斜地、避難場所が載っているハザードマップも配布しています。避難計画・防災計画について鹿児島市はしっかりと取り組んでいます。 川内原発については、30km・40km・50kmと線は引かれていますが、私は安全性が担保されない限り再稼働するべきでないと言っています。国はそれぞれの地域で考えなさいと言いますが、これはやはり国全体の問題ですので、そういうことをしっかりと踏まえた対応をしてほしいなと思います。避難計画については鹿児島市は万全の態勢を整えて対応していると思います。 また、この前御嶽山が噴火しましたが、桜島もいつ噴火するか分かりませんので、防災訓練を含めて毎年対応を図っているつもりですが、つねに危機感を持つことが大事かと思っています。	市民局	本市では、平成25年4月に、原子力防災の基本となる地域防災計画「原子力災害対策編」を策定しました。 また、この計画に基づき、同年10月に原子力防災訓練を実施し、避難訓練を行ったほか、同年11月に、原子力災害対策避難計画を策定しております。 さらに、同年12月には、原子力防災の注意点などをまとめた「市民のための防災ガイドかごしま」を作成し、市民のひろばと一緒に、全戸配布して、広報しています。 また、万が一の際は、国や県と連携して対応することになりますが、市民の皆様への情報伝達手段として防災無線も整備しているところでございます。 今後とも、訓練を重ねる中で、避難計画の実効性を高めてまいりたいと考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年9月30日(火)18:00~19:00
場所:伊敷公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	西伊敷商店街通り会 男性	⑩ 私たちは商店街の活動として、地域の方々に喜んでもらってまちが元気になればということで、夏祭りとか餅つき大会などを商店街で企画して活動している。商店街として色々な助成金を活用しているが、手伝ってもらおうボランティアの方々にお茶や弁当が支給できる助成があればと思うので教えて欲しい。	⑩ 鹿児島市の補助事業の中に頑張る商店街事業というのがありますので、そういう事業を活用していただければと思います。皆様方が祭りをしたり色々な事業を頑張ってますよという活動実績を添えて申請してもらえば、合致すれば補助金として出せるようになりますので活用していただければと思います。	経済局	頑張る商店街支援事業においては、アルバイトの賃金などイベントの実施に直接必要な経費を補助対象としておりますので、申請に際しては事前に地区担当職員にご相談いただきますようお願いいたします。
10	伊敷歴史研究会 男性	⑪ 私たちは月に1回伊敷公民館を使わせてもらっており、部屋の使用料は1,000円以下で安く使いやすいが、プロジェクターの使用料は2,000円くらいで高い。パソコンが普及しており、頻繁に使うので高く感じる。プロジェクターの使用料を半分以下にする使用料の見直しをしてもらいたい。	⑪ これは伊敷公民館だけではなくて全公民館にも影響しますので、受益者負担ということで使用料を決めていますので、全体の使用料の検討の中でそういうご意見があったことを伝えたいと思います。	教育委員会	地域公民館は、地域の人たちが集い、学び、楽しめる施設として、研修室・調理室や、各種設備を設置しており、その使用料については受益者負担を基本としているところでございます。 使用料の改定につきましては、施設の経費節減を図った上で、適正な使用料の設定について今後も検討してまいります。
11	食生活改善推進員 女性	⑫ 私は花野団地に住んでおり、第2・4日曜日などに公園の清掃をしている。公園で子どもたちが遊ぶ姿を見かけず、このご時世なので仕方がないと思うが、夕方になると地域のパトロールカーで「1人では遊ばないように、1人では帰らないように」と言っている。危険だというのは分かるが、公園に行っても遊具がなくなっており、公園が避難場所にしかなくないと思うと悲しい。もっとみんなが利用できる公園にしてほしい。また、道路などもどんどん木が切られるなど緑が少なくなっているのので、緑を増やしてほしい。	⑫ 鹿児島市の公園はそれぞれの地域に設置していますが、やはり地域の皆様方がしっかりと活用していただくのが公園の在り方だと思いますので、今のご要望については所管課に伝えておきます。 緑が少ないというのは私も常々感じています。鹿児島は先の大戦で街中が90%以上消失して、そこからまちづくりを始めていますので、なかなか緑をということにならなかったと思いますが、やはり私は癒しのある緑というものを増やしていきたいと考えています。それぞれの地域でも緑を増やすという努力をしています。 木が伐採されるというのは、樹木の生息等の関係で行っていると思いますので、今のご意見については所管課に調べさせたいと思います。	建設局	公園内の遊具等については日頃から点検等により利用に支障がないよう努めており、老朽化した公園施設は計画的に補修を進めております。 道路での街路樹の伐採は、道路改良等により支障となった樹木や、倒木等の恐れがある樹木について実施しておりますが、伐採後は適正な時期に、新たな樹木を植栽してまいります。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年9月30日(火)18:00~19:00
場所:伊敷公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
12	健康づくり推進員 男性	⑬ お達者クラブ全体では、市の様々な補助制度の情報が行き渡っていないように感じる。お達者クラブ・老人会・敬老会で補助金を使ったが、誰がどのような補助金を受けられるのかという広報をもう少しとしてほしいと思う。	⑬ せっかく作った補助金が市民の方々に十分に活用してもらえないということは作った意味がありませんので、どういった補助金があり、どういう風に使えるか、これを十分活用してくださいということを市民のひろば等で広報したいと思います。たぶん年に1回は市民のひろばで広報しているとは思いますが、なかなか詳しく見ていただけないということもあると思います。 今の市民のひろばは字も小さくページ数も少ないので、今後は字を大きくしてページ数も多くして皆さん方に見ていただいて中身を精査していただけるような紙面に変えていきたいと思ひます。そのことも踏まえて広報をしていきたいと思ひます。	健康福祉局 総務局	【総務局】 広報面につきましては、広報紙「かごしま市民のひろば」を本年11月号から、ページを8ページ増やすとともに文字の大きさを拡大するなど、より読みやすい紙面となるようリニューアルを行ったところでございます。 また、来年3月には、ホームページのリニューアルも予定しており、補助金等の情報を含め目的の情報に一層たどり着きやすいトップページとなるよう見直しを進めているところでございます。 今後とも市政情報のきめ細やかな発信に努めてまいりたいと考えております。 【健康福祉局】 市長回答のとおり
13	健康づくり推進員 女性	⑭ 玉江小学校の帰りの子どもたちに話しかけると、話にのってくれる子とそうでない子がいる。怖い人がたくさんいるので、知らない人に声をかけられたら見向きをするなど学校で言われているのかなとも思ったが、私たちが小さな頃には親でなくても地域の人たちに怒られたりしていた。今は同じ町内の子どもでも親しく話をする機会がない。そこで私たちのお達者クラブでは年に1回あいご会と交流会をしており、その後は親しくなったりした。地域の人々が仲良く話をしながら活性化するには、コミュニケーションが必要だと思う。このようなことを教育委員会の先生方にもお願いができないか。	⑭ 私も同じように感じています。私も小さい頃は隣の人や近所の人から教育も受けましたし、指導も受けました。それが地域のまちづくりになっています。ところがいろんな事件が発生して、教育委員会の先生方も大変神経を尖らせていると思ひます。そのことで地域の子どもたちが地域に溶け込めないという弊害も出てきているのも実情ではないかと思ひます。 交通安全指導員など地域で組織を作っていたら、声掛けをしていただいているのですが、地域コミュニティ協議会が出来ればこういった活動ももっと広がるのではないかと思ひます。町内会加入率がどんどん少なくなっているのが危機的な状況かと思ひますので、教育委員会というよりも鹿児島市全体のまちづくりの大きな課題ですので、できるだけ全市民が町内会に入っていたら、地域に根をおろしていただけて、その地域に目配りができるような組織ができることで、そのようなことを払拭できるのではないかと思ひます。今回のお話は教育委員会に伝えておきたいと思ひます。	教育委員会 市民局	【教育委員会】 あいご会は、地域の方々に協力をもらいながら、地域の大人や子どもたちとの交流、体験活動の充実などに取り組み、青少年の健全育成や地域活性化に貢献しております。 ご提言のとおり、あいご会活動等での地域の人とのコミュニケーションは子どもたちにとっても重要であり、あいご会の方々の地域に根ざした活動の積み重ねが、次代を担う青少年の健全育成につながると考えられることから、今後もあいご会関連の研修会等で地域の大人や子どもたちとの交流や自然体験活動等の実施を推奨していきたいと考えております。 【市民局】 地域コミュニティ協議会は、町内会などの既存のコミュニティ組織やNPO、企業など、校区内で活動している各種団体が連携協力してまちづくりに取り組む組織で、現在、中名・八幡・平川の3地域で協議会を設立し、活動いただいているところです。 27年度からは同協議会を市内全域で順次設立してまいりますので、ぜひ、協議会設立に向け取り組んでいただき、校区の青少年健全育成活動の一環として、親睦交流活動にも取り組んでいただき、市もその活動に対し支援をしてみたいと考えております。